

朝食摂取率調査の結果報告

食育推進部

1. 実施日：平成25年6月17日（月）～6月23日（日）
2. 1週間の摂取・欠食者数

調査人数（人）	1学年	2学年	3学年	合計
調査人数（人）	185	168	169	522
毎日食べている（人）	173	162	154	489
摂取率（%）	93.5%	96.4%	91.1%	93.7%
2～3日食べない（人）	4	2	7	13
4～5日食べない（人）	7	1	2	10
ほとんど食べない（人）	1	3	6	10
欠食者数（人）	12	6	15	33
欠食率（%）	6.5%	3.6%	8.9%	6.3%

3. 欠食理由

	1学年	2学年	3学年	合計
食欲がない（人）	5	4	5	14
太りたくない（人）	0	0	0	0
食べる時間がない（人）	3	2	6	11
いつも食べない（人）	0	0	2	2
用意されていない（人）	2	0	0	2
その他（人）	0	0	2	2
合計（人）	10	6	15	31

4. まとめ

<朝食摂取率の昨年との比較>

昨年度も同様の調査を行い、昨年度の朝食摂取率は6月が87.1%、11月が87.4%であったことに対し、今年度の調査では、93.7%と朝食摂取率が大変上昇していました。

生徒の一週間を振り返っての感想を見てみると「毎日、食べることが普通だと思う。」「毎日食べないと元気が出ない。」などや「バランス良く食べたい」などの反省もあり、朝食の重要性を十分、理解でき

ていることが覗えました。また「母親に感謝したい。」等の意見もありました。

5. 今後の課題

欠食率としては約6.3%と低い値ではありますが、欠食理由で「食欲がない」「食べる時間がない」が多く、起床時間が影響していることから生活習慣の見直しが必要であることが覗えました。

さらに、朝食だけではなく、食事の重要性や食事の喜び、楽しさ、また、食物を大事にすること、食事のマナーや人間形成能力を身につけるようにさせていきたいと考えています。

